

平成 24 年度 探求活動（芸術科）

1, 内容

書道・音楽・美術から 1 ジャンルを選択し、課題（調べ学習）に取り組む。

※原則としては各自選択ジャンル課題に取り組む。

各ジャンル課題

（書道）生活の中から、興味を持った「筆文字」を見つけて、集めよう。

（音楽）自分の好きな楽曲を 1 曲取り上げ、レポートを作成する。

（美術）展覧会レポート

2, 実施期間

長期休業中課題－休み明け 1 回目授業時回収

3, 調べ学習のポイント

①興味のあるジャンルを選ぶ（書道・音楽・美術）

②課題に沿ってテーマを決める（以下、ワークシートへ）

③テーマには手がかりと予想が必要（意欲的に取り組むためには計画と創造力が大切）

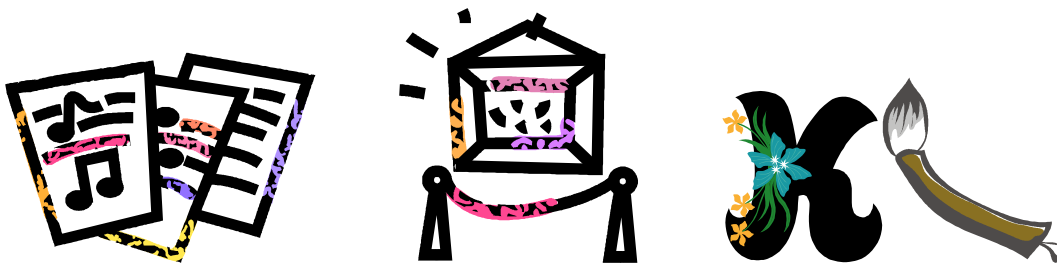
④見つけて終わり学習+α（まずは興味を持ち、さらに深く調べる）

⑤見つけたもの、集めたものに対して自分で考えを持つことが大切（考察－ワークシートへ）

⑥調べたもの、集めたものとワークシートをまとめて提出（3 ジャンル共通）

4, 注意

- ・ 課題提出対象－特進文理コース全員（通年評価の対象）
- ・ 他コースは任意－探求学習の形態が異なるため夏季休業課題扱い（通年評価に加点）
- ・ 各自の選択ジャンル以外の課題でも可能



探求活動 美術 ワークシート

夏季休業中に展覧会を鑑賞し、用紙に記載されている項目に従ってレポートをまとめ、提出します。
展覧会は、美術館・街中にあるギャラリー・デパート・銀行・駅などいろいろな所で開催されています。
一人で静かに観ることも大切です。また、家族や友人と観るのもいいでしょう。夏の日を美術鑑賞に当ててください。

展覧会レポート	1年 組 番 氏名
	鑑賞日 年 月 日 曜日
①展覧会名	
②展覧会が開催されていた場所	
③どんな展覧会だったか報告（レポート）	
④展覧会全体、または特に気に入った作品に対する感想	
⑤今回鑑賞した展覧会や作品について詳しく調べてみよう。(任意)	

※パンフレットやチケットの半券、調べた資料等がある場合は裏面に貼って提出。

※複数の展覧会をレポートする場合は、この用紙のコピーまたは同サイズの用紙で提出。

※展覧会ばかりでなく、美術番組（TV）や雑誌の特集などをピックアップしてレポートも可。

※⑤に関してはやるやらないは自由（インターネット等で調べてみよう）

書道 I

○身近にある「筆文字」に気づくことで、筆文字のおもしろさや良さを、再発見しよう。

課題： 生活の中から、興味を持った「筆文字」を見つけて、集めよう。

方法： ①大学ノート・スクラップノートなどを用意する。

②写真やパッケージの切り抜きなどを貼って、スクラップする。

評価のポイント：魅力を感じた点、感想、自分なりの探求、これらをどれだけ深めているか。

注意点：自分で集めること。他の人が使った写真を使ってはいけない。

筆文字の写真
コピー・実物
(いずれかを貼る)

- ① 見つけた日
- ② 見つけた場所
- ③ 何に使われているのか
- ④ その文字のどこに魅力を感じたのか
- ⑤ 感想
- ⑥ 自分なりの探求

自分の好きな楽曲（クラシックでもJポップでも良い）を1曲取り上げ、その楽曲について調べ、考えレポートを作成する。

★注意事項★

調べ、集めた資料はワークシートではなく各自のノートを用意し、貼り付け提出すること。

※歌詞のある楽曲に関しては資料ノートに歌詞を必ず書き写すこと。

【楽曲名】

【作曲者】

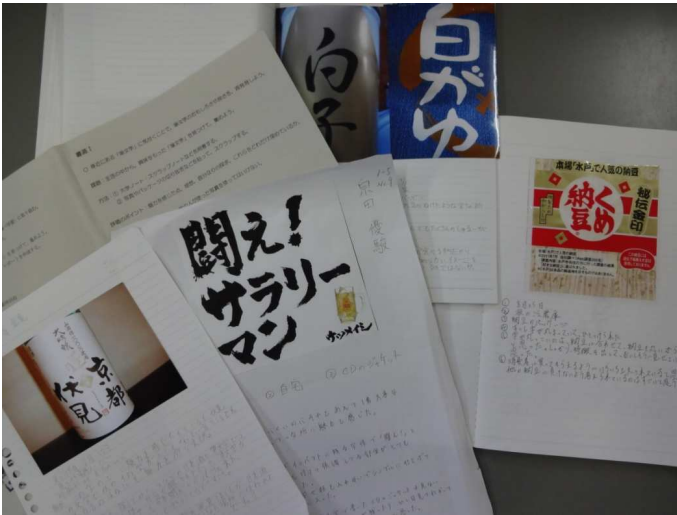
【作詞者】

【演奏者（アーティスト）】

【楽曲についてのレポート】

【自分の考え、感想】

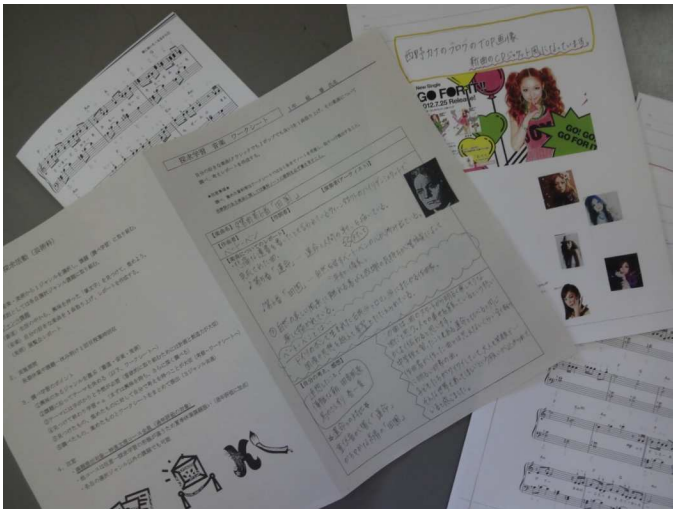
提出物の例



書道提出物

書道

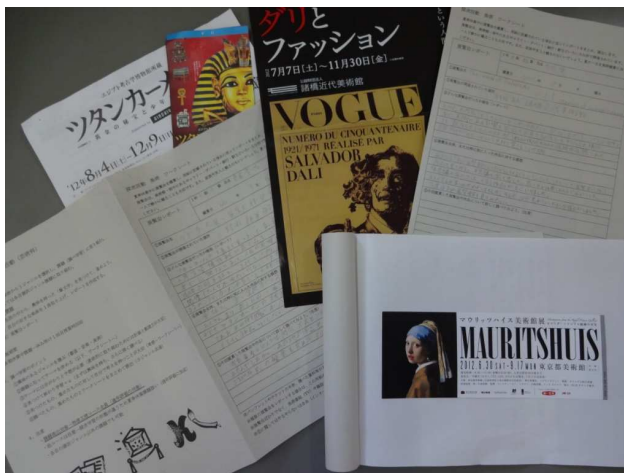
- ・「白子」と「白がゆ」
別々の商品名から、書体の違う漢字を比較した。どのような顧客が購入するのかを考え、商品のイメージが伝わり易いように書体が工夫されていることを考察した。
- ・「CD ジャケット」
タイトルを読みづらい筆文字を使うことで印象に残るようにしている。
- ・「納豆のラベル」
字が丸っこいのは、納豆の形に合わせているのだと思う。



音楽提出物

音楽

- ・「theover」 UVERworld
滋賀県出身のロックバンドの曲。「黒の女教師」の主題歌にもなっているが、歌詞を分析してみると、矛盾している考えの中にどれだけ相手のことを大切に思っているかが歌われている曲であることが分かった。
- ・「田園」 ベートーベン
この曲は彼が作った「運命」と作品番号が続いているが、対照的で全体的に明るい曲になっている。人々の幸せを願って作られたこともあり花園で踊っているような風景もイメージできた。
- ・「魔王」 シューベルト
ストーリーは中学で習ったが楽譜を良く見てみると子どものセリフのパートが出てくるたびに音が高くなっていることに気付いた。これは、子どもの恐怖心を表していると思った。



美術提出物

美術

- ・須田国太郎展（茨城県立近代美術館）

1950年作「犬」。この作品に私は見入ってしまいました。須田国太郎の〈黒を基調とする〉どちらかと言うと暗い作品のはずなのに、どこか怪しげで存在感を感じました。

- ・The world of Salvador DALI 展（諸橋近代美術館）

最初は、「別に展覧会なんて行きたくないな」でした。しかし、いざ展覧会に行くと作品を観て回ると思っていたものとは違い不思議なくらい楽しめてそんな自分にびっくりしました。「不思議の国のアリス」という作品が特に気に入り、理屈ではなく自分の心が惹かれていったような感覚です。別の展覧会も観てみたいと思います。

- ・「砂で世界旅行・イギリス～語り継がれる大英帝国の繁栄と王室の誇り」（砂の美術館・鳥取県鳥取市）

私が行ったのは第5期展示でテーマは「砂で世界旅行・イギリス～語り継がれる大英帝国の繁栄と王室の誇り」というものでした。作品の中で最も気に入ったのは「街の賑わい」という作品で、まるで自分が「砂」という絵に入り込んでいると言っても過言ではないリアルさです。人間にここまで精巧な表現ができるのかと思わせる最高の作品でした。